

令和元年 10 月 25 日

各 位

福岡県バイオ産業拠点推進会議事務局  
株式会社久留米リサーチ・パーク バイオ事業部

第 101 回バイオ研究・ビジネス最前線

「これからの創薬について ; オープンイノベーションの加速と産学連携強化」

のご案内

拝啓 秋冷の候、貴社におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当推進会議の事業運営に対しご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今回はこれからの創薬について、Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社代表取締役社長の池浦義典氏にわかりやすくご講演いただきます。

同社は武田薬品工業株式会社の研究者が設立したスピンアウトベンチャーで、湘南ヘルスイノベーションパーク (iPark) に拠点を置いています。この 4 月には武田薬品工業株式会社から独立し、現在製薬会社、ベンチャー、大学など幅広く創薬研究のサービスを展開しています。

この機会に奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 開催日時 令和元年 12 月 5 日 (木) 10 : 00 ~ 11 : 30 (9 : 30 受付開始)
2. 開催場所 久留米リサーチセンタービル 2 階研修室 B (〒839-0864 久留米市百年公園 1 番 1 号)
3. プログラム概要

時間	講師	
	所属	氏名
10 : 00 ~ 11 : 30	Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社	代表取締役社長 池浦義典氏
【内容】 製薬企業のビジネスモデルは、創薬ニーズの変化など製薬企業を取り巻く環境変化に対応する形で変化し続けている。かつて、国内製薬企業の多くは自社研究に依存した新薬開発を展開してきた。しかし、現在は、アカデミアの研究成果の活用やバイオベンチャーとの連携が継続的な新薬創製のカギとなっている。そのような環境下製薬会社においてはオープンイノベーションを積極的に活用すべく、様々な取り組みを行っている。本講演ではオープンイノベーションへの取り組みの一つである湘南ヘルスイノベーションパーク (iPark) の概要について話すと共に、産学連携強化の鍵となる相互理解を進めるべく、アカデミアにおける研究と企業の研究との違い、企業でのプロジェクト推進において各ステージで具体的にどのような試験、データが求められるのかなど、企業研究の具体的な内容について紹介する。さらにアカデミアやベンチャーの研究を弊社 (Axcelead Drug Discovery Partners) がどのようにサポートできるのかについても併せて紹介する。		

4. 定員 30 名
5. 参加費 無料
6. お申込み方法 ウェブ (<https://www.fbv.fukuoka.jp>)、FAX (参加申込書) でお申し込み下さい。
7. お問合せ先 株式会社久留米リサーチ・パーク (TEL: 0942-37-6124) 担当:本多、西原、安松

## アクセスマップ



## 百年公園案内図



■車でお越しの場合■ 公園駐車場をご利用下さい。

■バスをご利用の場合■ 降車バス停「百年公園」

西鉄久留米駅よりバスで約 10 分

(1) 行き先番号 5 番「ゆめタウン久留米」

(2) 行き先番号 23 番「田主丸駅前」

JR 久留米駅よりバスで約 20 分

行き先番号 23 番バス「田主丸駅前」(西鉄久留米駅経由)

**F A X 0 9 4 2 - 3 7 - 6 3 6 7**

（上記番号に送付できないときは、0942-37-6118に送付をお願いします。）

株式会社久留米リサーチ・パーク バイオ事業部 安松宛て

**第101回バイオ研究・ビジネス最前線**

令和元年12月5日（水）10:00～11:30

**「これからの創薬について；オープンイノベーションの加速と産学連携強化」**

## 参加申込書

会社名		
所在地	〒	
電話番号		
(申込代表者) メールアドレス		
	所属・役職	氏名
(申込代表者)		

本講演会申込みに際しご提供いただいた個人情報は、申込みの確認および株式会社久留米リサーチ・パーク主催の各種の講演会・研修会等のご案内以外には使用いたしません。